



プレスリリース
News

No.08

特集展示のご案内

長崎歴史文化博物館は、2階常設展示室の展示替えを定期的に行っております。
是非、ご取材・情報掲載の程、宜しくお願ひ申し上げます。

特集展示「渡来黄檗僧の書画」

承応3年(1654)に中国の黄檗僧である隠元隆琦(いんげんりゅうき)が長崎に渡来し、黄檗の禅の教えのほかにも多くの文化を日本へもたらしました。堂々とした書もそのひとつです。隠元と、その後が続いて長崎へ渡った木庵性瑫(もくあんしょうとう)、即非如一(そくひにょいつ)の三人は能書家としても名をはせ「黄檗の三筆」と称されます。本展では四福寺にゆかりの資料として長崎へやってきた中国人黄檗僧の書画を中心に、長崎ならではの黄檗文化をご紹介します。



特集展示「渡来黄檗僧の書画」

会 期：2019年5月22日(水)～7月15日(月祝)

休館日：6月17日(月)

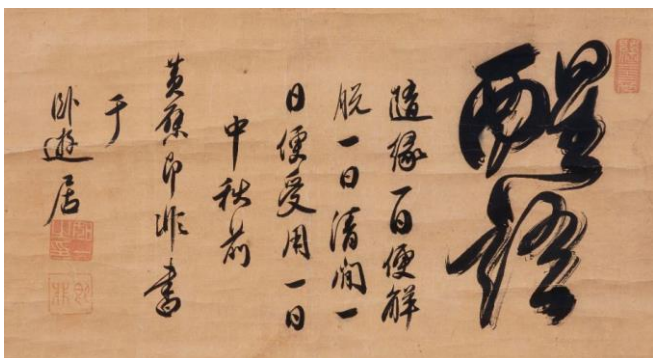
会 場：特集展示室

(2階常設展示室 歴史文化展示ゾーン内)

時 間：8:30～19:00 (最終入館18:30)

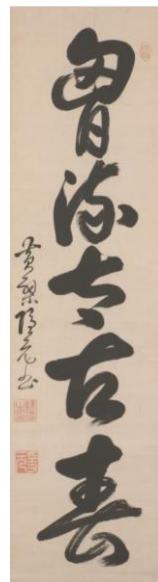
観覧料：大人600円、小中高校生300円

※県内小中学生は無料



即非如一筆「醒語」 長崎歴史文化博物館蔵

「黄檗の三筆」とされた即日の書はとりわけ評価が高く、楷書・行書・草書全て優れた。本作はこだわりを捨て、世俗の喧噪から離れることを飄逸な筆致で説く。



隠元隆琦筆「胸流太古春」

穏やかな春の日に悠久の時をしみじみと感ずる心情を、たっぷり墨を含んだ筆で表している。



木庵性瑫筆「縦横不是塵」

力強くスピード感のある雄渾な筆致で「全てのものは塵ではなく、仏を宿している」という、悟りを得た際の境地を書いている。



長崎歴史文化博物館
Nagasaki Museum of History and Culture

〒850-0007 長崎市立山1-1-1

TEL:095-818-8366 FAX:095-818-8407

担当 経営管理グループ 広報担当 大石・前田

☆れきぶんメールマガジン 登録無料! 詳しくは <http://www.rekimaga.info/> →→→

